

のぼりべつの夏 始まる

6/30
~7/1
7/7~8

第6回 のぼりべつ夏祭り~いぶり食と文化の祭典~ わくわく広場ののぼりべつ2018

6月30日(土)・7月1日(日)には川上公園で『第6回 のぼりべつ夏祭り~いぶり食と文化の祭典~』(同実行委員会主催)、7月7日(土)・8日(日)には登別ビーチパークで『わくわく広場ののぼりべつ2018』(同実行委員会主催)が開催され、多くの人がのぼりべつの夏を味わいました。

『第6回 のぼりべつ夏祭り~いぶり食と文化の祭典~』では、恒例となっている『閻魔(えま)やきそば』地獄の早食い自慢や『幌別ダム見学会』などの参加型イベントや地域の高等学校、各種団体による多彩な発表が行われたほか、韓国やベトナムなど、さまざまな国の料理が販売され、来場者は多様な食と文化を堪能していました。

『わくわく広場ののぼりべつ2018』では、登別市出身のプロレスラー・斗猛(ともたけ)矢(や)さんによる『路上プロレス』や登別マリナパークニクスからやってきたペンギンのショー、夜にはニクスランドの観覧車に乗り、登別地区のまちを見渡す『ナイトビューNoboribetsu』など、魅力いっぱい催しが行われ、会場には多くの笑顔があふれていました。



▲大人も子どもも息をのんで見守った迫力満点の『登別伊達時代村忍者ショー』(第6回 のぼりべつ夏祭り~いぶり食と文化の祭典~)



▲オープニングを飾った『日向(ひなた)ひょっとこ踊り「登別同好会」』(わくわく広場ののぼりべつ2018)

循環型社会を学ぶ

登別市民憲章制定50周年記念 リサイクルまつり'18イン登別・白老

7月1日(日)、クリンクルセンターで『登別市民憲章制定50周年記念リサイクルまつり'18イン登別・白老』(登別市・白老町主催)を開催しました。

雨のため、多くの人が出店を予定していたフリーマーケットは中止となりましたが、訪れた約1千人の来場者は、生ごみから作られた『たい肥』がもらえるスタンプラリーやエコドライブの度合いを測ることができるシミュレーター体験などに参加し、環境について楽しみながら学んでいました。

7/1



▲協定を取り交わす、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社執行役員の山田英司さん(左)

地域の活性化を目指す 連携協定

地方創生に関する包括連携協定締結式

6月28日(木)、登別市とあいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、相互に連携して、まちづくりに取り組む『地方創生に関する包括連携協定』を締結しました。

同社との包括連携協定は、道南エリアの市町村では初となる協定で、暮らしの安全やスポーツ振興、高齢者支援など、10項目について連携を図り、取り組みを進めていくものです。

本協定による今年度の取り組みとして、『パハリンピアンによる講演会』の開催や安全運転を啓発する『エコドライブコンテスト』の実施を予定しています。

6/28



▲スクリーンに映し出された映像を見ながら、模擬運転をするシミュレーターで、二酸化炭素などの排出量を確認した参加者